その他水系（阿久根市）流域治水プロジェクト

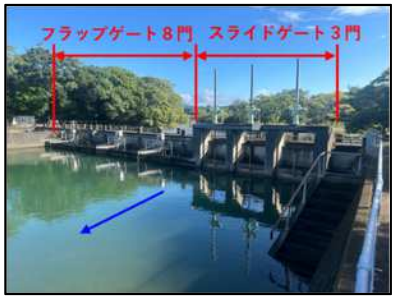
被害対象を減少させるための対策

その他水系（阿久根市）流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

折多樋門及び折多排水機場の撤去に向けた取り組み【阿久根市】

○地元の合意形成を図ったうえで，樋門及び排水機場撤去を前提とした河川改修計画（河道拡幅）について、関係機関と協議を進める。
○樋門撤去による農地耕作への影響を調査し，必要な営農対策（塩害・用水）を進める。
○樋門及び排水機場の撤去までの間は、施設の適切な維持管理に努める。



【折多樋門】

【折多排水機場】

【阿久根市の方針決定までの経緯】
　折口川流域の浸水原因の一つである折多排水樋門について、土木・農政の各関係機関との協議の結果、排水樋門が建設後７０年以上経過による老朽化の進行、及び樋門の更新・改良が困難であるため、樋門撤去による河道拡幅の方針を決定。

【地元意見交換会】
　令和６年１０月～１１月にかけて、塩水遡上の影響を受ける折口川流域の８地区で地元意見交換会を実施。
　折多排水樋門撤去を行う前に、営農対策（用水、塩害）を確実に行うことを前提として、阿久根市の方針である「折多排水樋門及び折多排水機場撤去を前提とした河川改修計画（河道拡幅）方針」について地元からの賛同を得た。

R6.10.16～R6.11.6
８地区での地元意見交換会実施状況

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害対象を減少させるための対策	農地湛水対策	折多樋門及び折多排水機場の撤去の検討	阿久根市	→	→	→

その他水系（阿久根市）流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

折多樋門撤去及び河川改修を見据えた折口川流域の農地利用の見直し

○水田の嵩上げによる畑地化、農地の集積集約化の検討
○土地改良事業計画書の策定検討

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
被害対象を減少させるための対策	農地利用の見直し	水田の嵩上げによる畑地化、農地の集積集約化の検討	阿久根市			
被害対象を減少させるための対策	農地湛水，塩害対策	土地改良事業計画書の策定検討	阿久根市			

その他水系（阿久根市）流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（ソフト対策）【鹿児島県】

○地域の防災力を高める警戒避難体制の強化

・土砂災害警戒区域等の指定を進め，認知度向上を図る。

・リスク情報をより分かりやすく伝えることで地域住民の理解を深めるとともに、自助・共助を強力に支援することで、地域全体の防災力を向上
（「土砂災害警戒区域等マップ」，「河川砂防情報システム」として県ホームページに公表）

土砂災害警戒区域等の指定

土砂災害警戒区域　　：23，842箇所
土砂災害特別警戒区域：20，462箇所
（令和7年3月末時点）

土砂災害防災訓練

垂水市

志布志市

土砂災害に関する出前講座

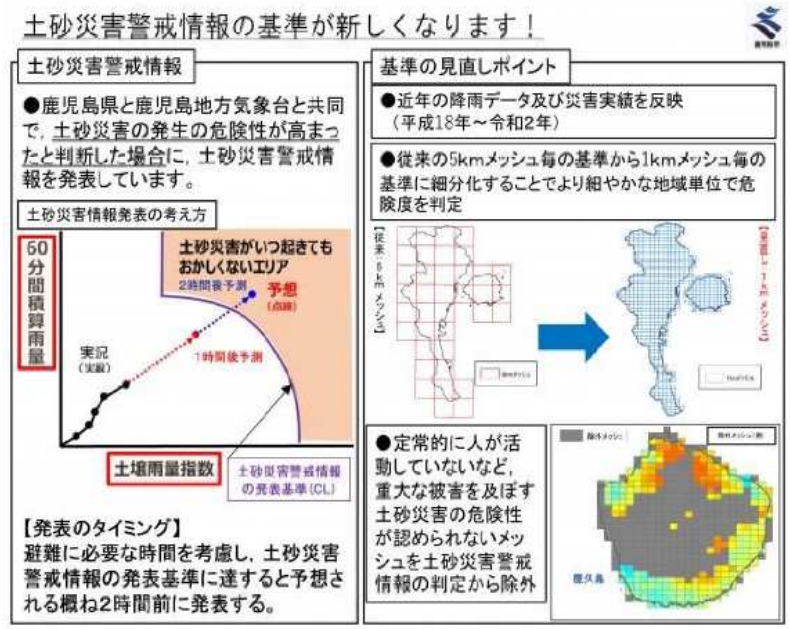
喜界町立早町小学校

南種子町立島間小学校

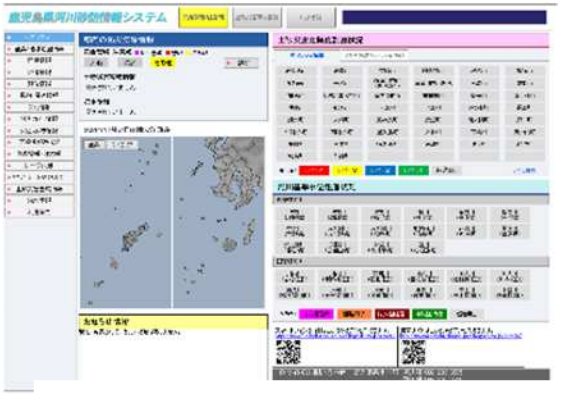
土砂災害警戒区域，雨量，土砂災害警戒情報などのリスク情報の提供

鹿児島県土砂災害警戒情報の発表基準の変更

○鹿児島県と鹿児島地方気象台は，土砂災害警戒情報の発表基準を見直し，令和４年１１月２４日から新たな基準により運用。



鹿児島県河川砂防情報システム



鹿児島県土砂災害警戒区域等マップ

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工　程		
				短　期	中　期	中長期
被害対象を減少させるための対策	地域の防災力を高める警戒避難体制の強化	いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県	➡	➡	➡

その他水系（阿久根市）流域治水プロジェクト

被害の軽減，早期復旧・復興のための対策

その他水系（阿久根市）流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

水位計等の設置，防災情報の提供【鹿児島県、気象庁】

■ 各機関において，防災情報の提供を目的に、水位計・監視カメラ・雨量計を設置しているところである。
下図のようにその他水系（阿久根市）流域内の施設位置を示し，自分が住んでいる地区にはどのような観測機器があるか，そして，自分の身を守るための防災情報として何の情報が取得できるか，自らの自助・共助へ繋げるよう，防災意識の更なる高揚を図る。

■ また、洪水時における氾濫発生の可能性が高い箇所等の危険箇所や，地先レベルの水位・状況を把握することを目的に，危機管理型水位計・簡易型カメラも設置しており，今後，必要に応じて，追加設置を行っていく。

その他水系（阿久根市）流域における水位計・監視カメラ・雨量計の位置図

その他水系（阿久根市）流域内に設置されている各施設数（R4.3末時点）

管理者	水位計		カメラ	雨量計
	水位局	危機管理型		
鹿児島県	1	6	-	4
気象庁	-	-	-	1
合計	1	6	-	5

簡易型河川監視カメラ

危機管理型水位計

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	水位計等の設置，防災情報の提供	鹿児島県、気象庁	➡	➡	➡

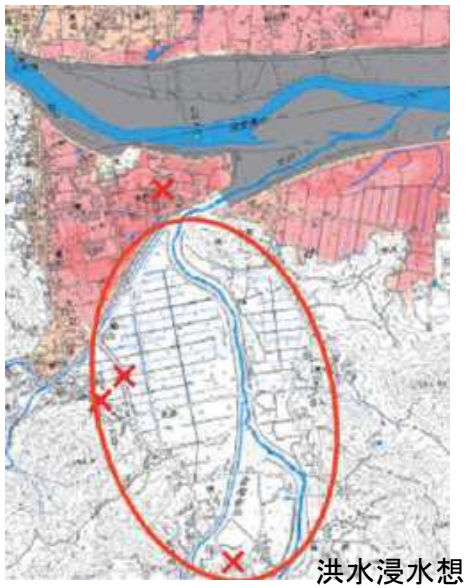
その他水系（阿久根市）流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

洪水浸水想定区域図の作成・公表　【鹿児島県】

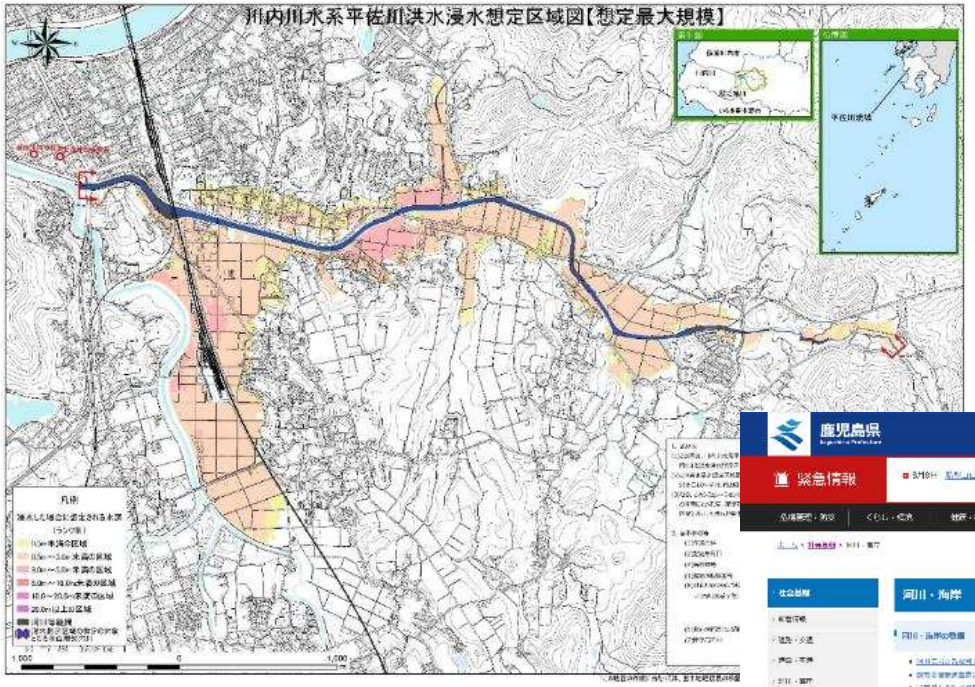
・ 現在の水防法では，洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川に限定されており，設定がない河川付近では水害リスクがないと誤解されがちな状況である。
・ 令和3年の水防法の改正に伴い，洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川等だけではなく，住家等の防御対象のあるすべての河川に拡大された。
・ 新たに設定が可能となった河川について，洪水浸水想定区域図を作成（令和8年3月までに公表予定）し，水害リスク情報空白域の解消を図る。

洪水浸水想定区域外で浸水被害があった事例



洪水浸水想定区域の設定がなく，水害リスクが示されていないエリア（水害リスク情報空白域）

浸水想定区域図（仙台河川国道事務所）
赤×印は被害発生位置



洪水浸水想定区域図のイメージ

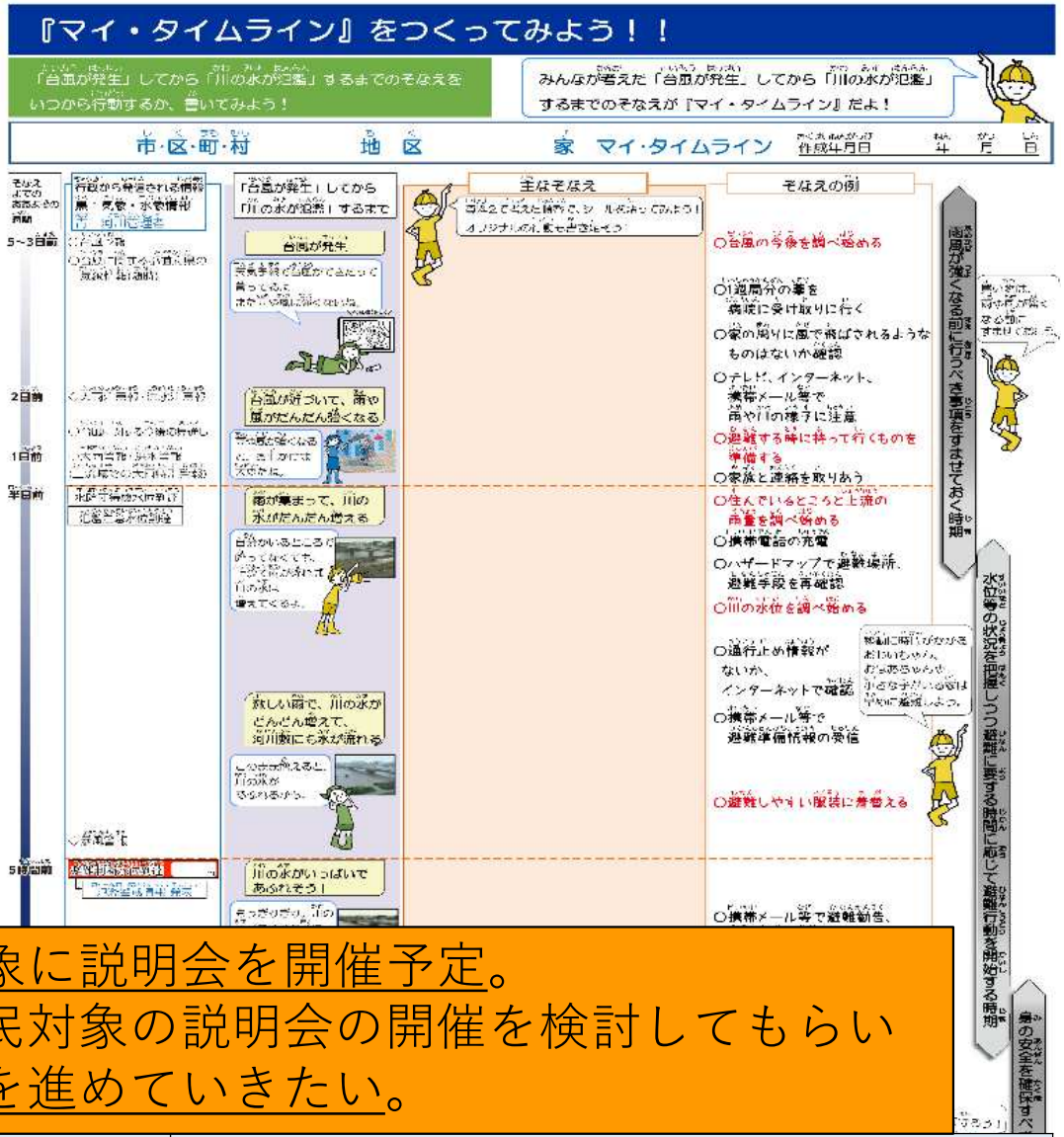
県HPで公表予定

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工　程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実	洪水浸水想定区域図の作成・公表	鹿児島県	➡		

その他水系（阿久根市）流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

マイタイムラインの作成・支援　【鹿児島県，阿久根市，出水市，気象庁】



今後，県及び市町村の防災担当職員を対象に説明会を開催予定。
それを受けて，各市町村において地域住民対象の説明会の開催を検討してもらい住民自らが作成していけるよう取り組みを進めていきたい。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	マイタイムラインの作成・支援	鹿児島県，阿久根市，出水市，気象庁	➡		

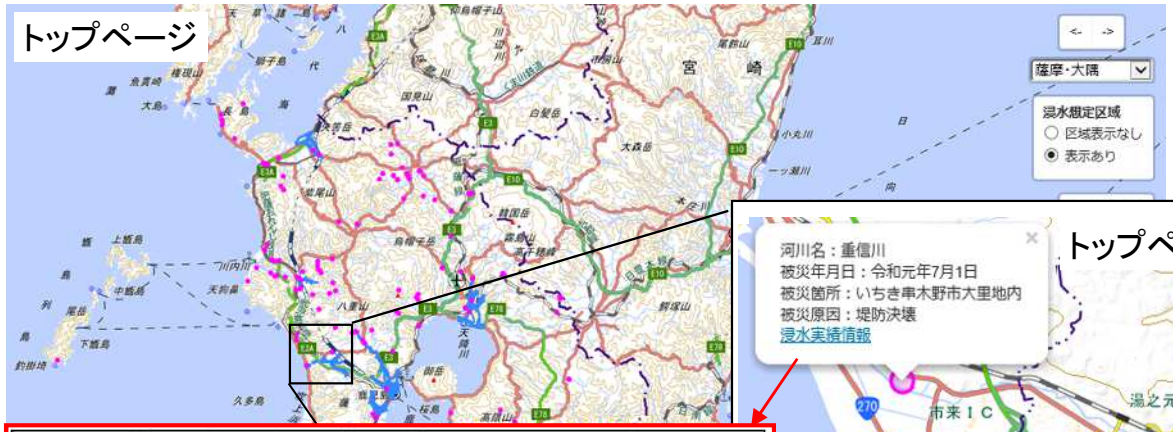
その他水系（阿久根市）流域治水プロジェクト

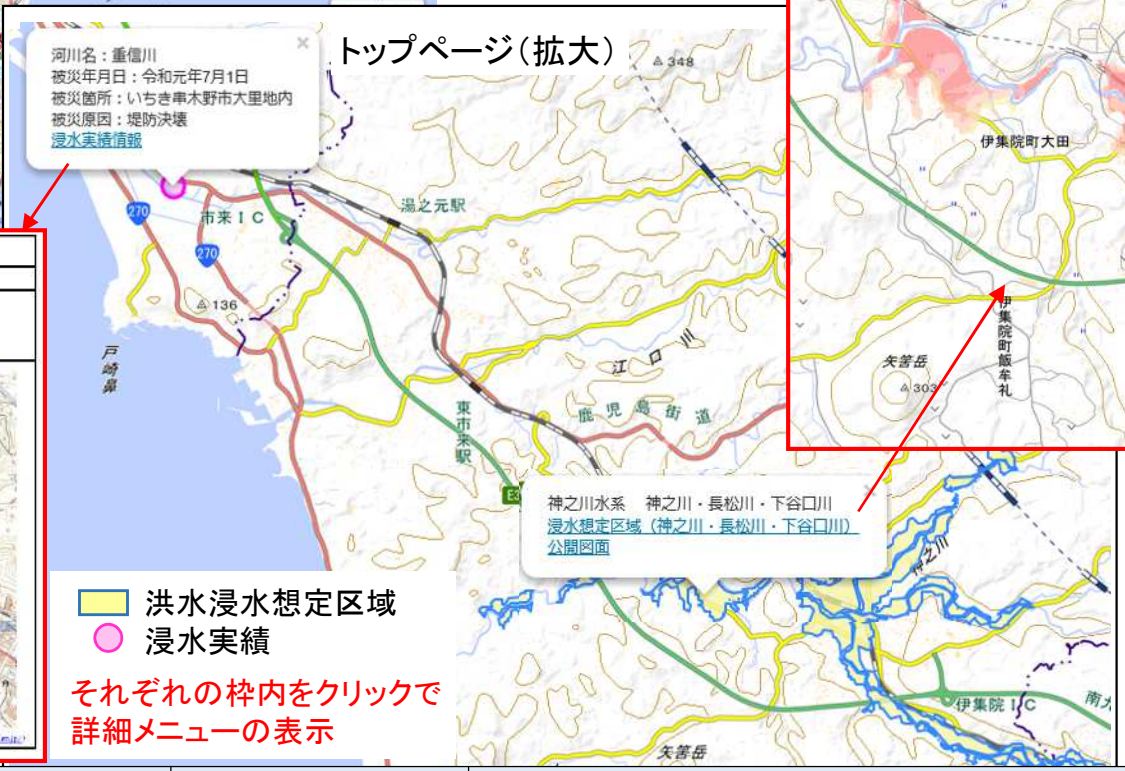
～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

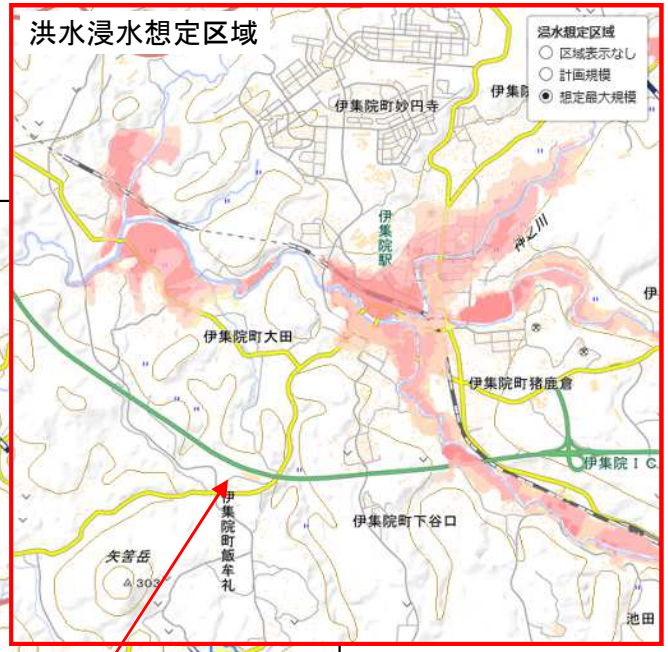
鹿児島県水害リスクマップの運用【鹿児島県】

・鹿児島県で把握・公表している水害リスク情報（洪水浸水想定区域や浸水実績）について，地図情報上に集約化し，わかりやすく県ホームページに公表（R3.2月末より運用）

http://www.kago-kengi-cals.jp/kasen/doui.html







洪水浸水想定区域
浸水実績

それぞれの枠内をクリックで詳細メニューの表示

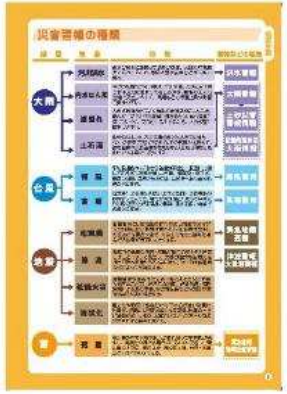
区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	鹿児島県水害リスクマップの運用	鹿児島県			

その他水系（阿久根市）流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

防災ガイドマップの更新及び浸水想定区域図作成の検討【阿久根市】

○災害時における市民の適切な避難行動につなげるため，新たにマイタイムライン等を加えた防災ガイドマップを市内全世帯に配布した。今後も継続した防災マップの更新に努める。
○市内の二級河川流域において，浸水想定区域図の作成を検討する。



（情報面）

マイタイムライン

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地リスク情報の充実・提供	防災ガイドマップの更新等	阿久根市		■	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地リスク情報の充実・提供	浸水想定図作成検討	阿久根市		■	

その他水系（阿久根市）流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

地域の防災力向上【鹿児島県，阿久根市，出水市】

地域の防災リーダー育成

地域防災リーダー養成講座の様子

講義（自主防災組織）

AEDを使用した心肺蘇生法訓練

モデル地区による地区防災計画作成

↑
ＤＩＧ（災害図上訓練）の様子

防災さんぽ（まち歩き）
↓

防災研修センターによる出前講座

その他の取組

- MBCﾗｼﾞｵ「防災ワンポイント」
- 防災･お天気フェア
- 防災啓発研修会　等

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧･復興のための対策	地域の防災力向上	防災研修，出前講座等	鹿児島県，阿久根市，出水市	➡	➡	➡

その他水系（阿久根市）流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

地域の防災力向上【鹿児島県，阿久根市】

個別避難計画作成

・市町村においては，災害対策基本法に基づき，避難を支援するための避難行動要支援者名簿（以下「名簿」という。）の作成が義務づけられており，本県では，全市町村が作成済となっている。
・当該名簿については，本人の同意を得るなどし，市町村から消防機関や自主防災組織等へ提供できることとなっており，市町村において取り組んでいるところ。
・また，市町村は，名簿情報に係る避難行動要支援者ごとに，個別避難計画を作成することとしており，令和６年４月１日現在の作成状況は，全ての市町村において，全部策定済みまたは一部策定済みとなっている。
・県では，引き続き，市町村に避難行動要支援者への対応に関する取組を紹介するなどして，名簿情報の提供や計画作成を促進してまいりたい。
・これらを踏まえ，市の努力義務となっている個別避難計画の作成について，流域治水プロジェクトにおいても，あらゆる関係者と共に議論していく必要がある。

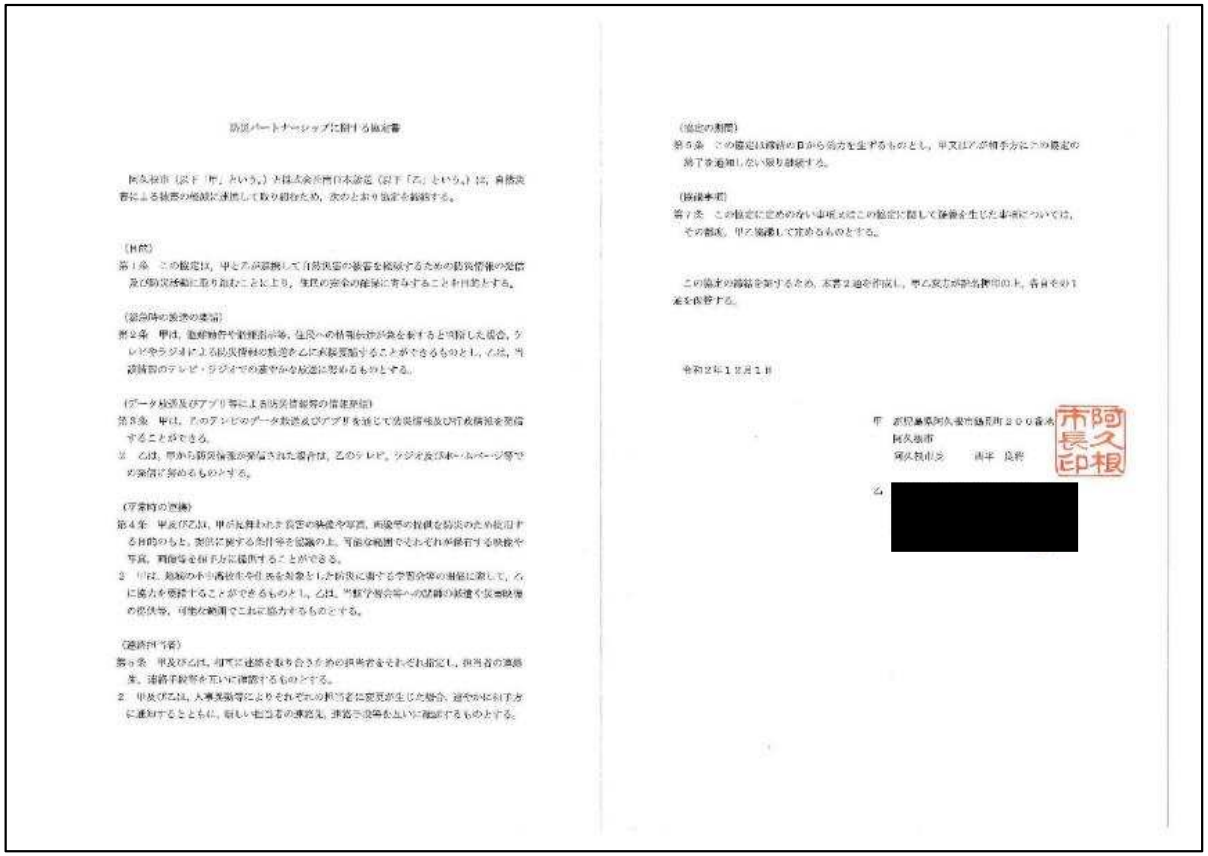
区分	対策内容	実施内容	事業主体	工　程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	災害時における要配慮者への支援	個別避難計画策定支援	阿久根市	➡		

その他水系（阿久根市）流域治水プロジェクト
～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

住民への防災情報の伝達【阿久根市】

○防災行政無線，HP及びSNS，登録制メールによる避難情報等の周知
○放送局等と災害協定を締結し，テレビやラジオ，アプリ等を通じた防災情報等の周知

防災情報の周知
（防災ガイドマップ）



放送局との防災パートナーシップ協定

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	住民への防災情報の伝達	避難情報・防災情報等の周知	阿久根市	➡	➡	➡

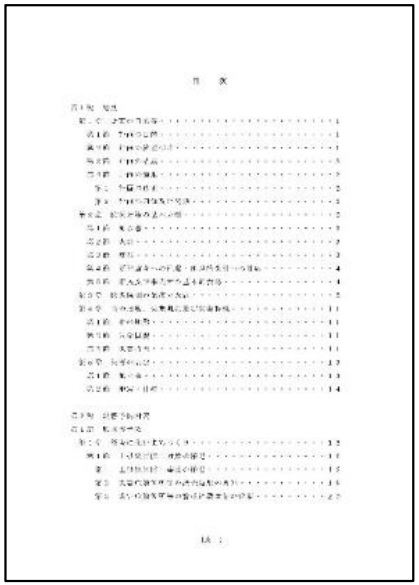
その他水系（阿久根市）流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

避難所安全性の検証，地域防災計画等点検，災害拠点・避難所強化等の検討【阿久根市】

○災害発生時に避難所となる施設の安全性の検証を行う。
○地域防災計画等随時点検を行い，必要に応じて見直しを行う。
○災害拠点や避難所の強化等について検討を行う。

避難所の安全性検証実施状況



地域防災計画の点検

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難所の安全対策	避難所の安全性検証	阿久根市	■	■	■
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域防災計画	随時点検 必要に応じて見直し	阿久根市	■	■	■
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災拠点・避難所の強化	防災拠点・避難所の強化等について検討			■	■

その他水系（阿久根市）流域治水プロジェクト
～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

地域の防災力向上【出水市の事例】

地区防災訓練の様子

避難所受付

基礎的訓練

避難者ゾーニング

・訓練参加者１１０名
（住民５０名、訓練担当６０名）
Ｒ２．８．２９

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域防災計画	総合防災ハザードマップ作成	出水市		■	
	住民への防災情報の伝達	防災行政無線、防災メール、市公式LINE等のツールでプッシュ型通知	出水市	■	■	■
	地域の防災力向上	・地域参加型の防災訓練 ・防災講演会等の開催	出水市	■	■	■

その他水系（阿久根市）流域治水プロジェクト

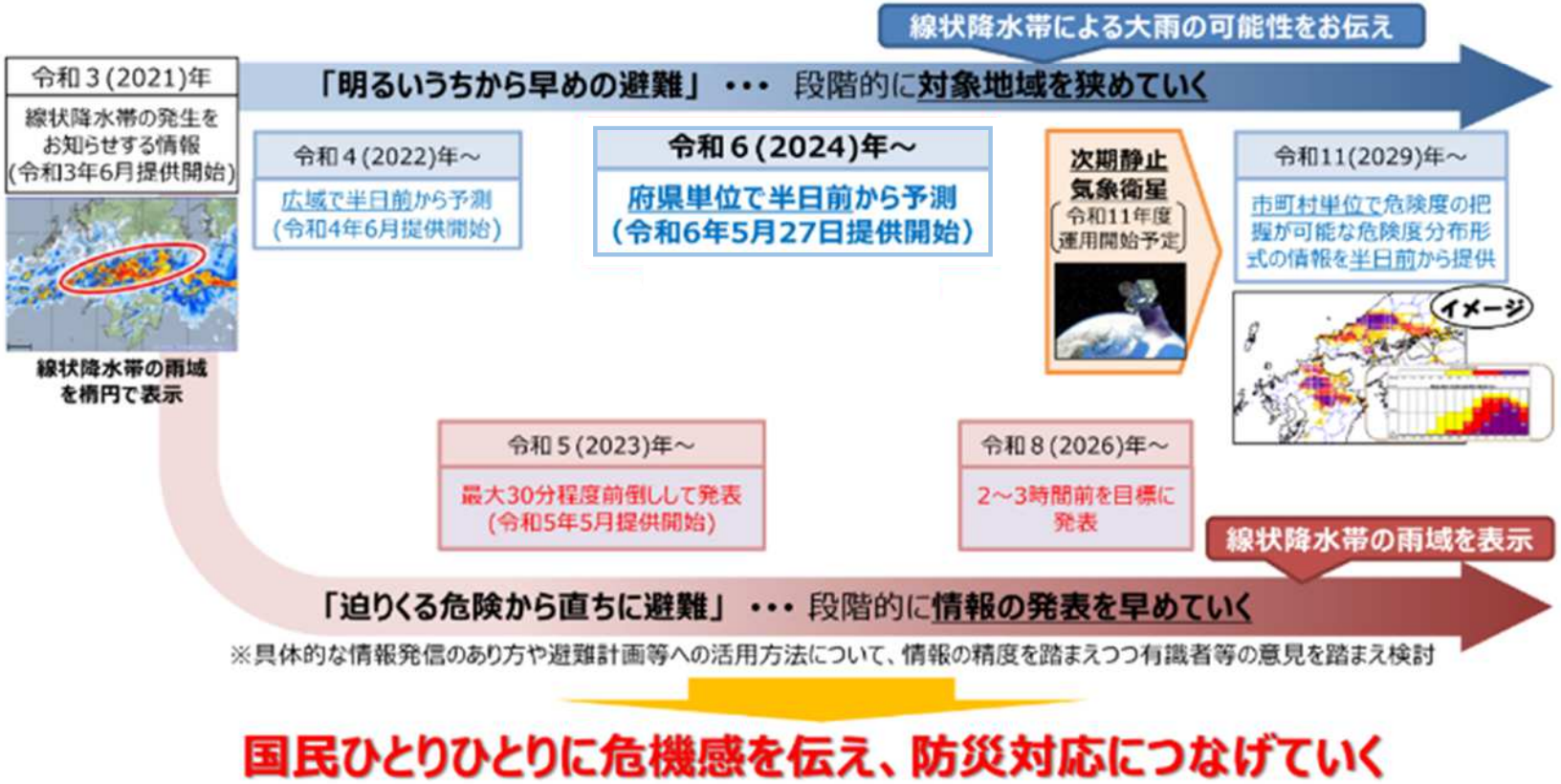
～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

気象庁HP利用促進、防災気象情報の改善【気象庁】

線状降水帯の予測精度向上に向けた取組（情報の改善）

観測の強化、予測の強化の取組の成果を順次反映することで、線状降水帯に関する情報の段階的な改善を実施。
- 令和４年６月、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけ（広域を対象）を開始。
- 令和５年５月、線状降水帯の発生をお知らせする情報（最大30分程度前倒しして発表）を開始。

令和６年５月から、半日程度前からの呼びかけについて、対象地域を府県単位に絞り込んでの運用を開始。



※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく

線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ

鹿児島県（奄美地方を除く）令和6年の実績

呼びかけを行った回数　4回
線状降水帯の発生　2回
適中率　50%
捕捉率　100%

呼びかけを行った4回に対して、3回で3時間降水量最大値が100ミリを超えた

↓

呼びかけを行った場合、線状降水帯が発生しなくても大雨となったことに留意

この呼びかけが行われたときには、大雨災害への心構えを一段高めていただくことが重要

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討、連携強化	気象庁HP利用促進 防災気象情報の改善	気象庁	■	■	

その他水系（阿久根市）流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

気象庁HP利用促進、防災気象情報の改善【気象庁】

警戒レベル相当情報の体系整理（情報の改善）

◎ **シンプルでわかりやすい情報体系・名称に整理**　**※令和8年度出水期からの運用開始予定**

【洪水】：氾濫による社会的な影響が大きい河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫を対象とし、河川ごとの情報とする。これ以外の河川の外水氾濫については、内水氾濫と併せて市町村ごとに発表する【大雨浸水】に関する情報とする※1。

【土砂災害】：発表基準の考え方を統一し、災害発生の確度に応じて段階的に発表する情報とする。

【高潮】：潮位に加えて沿岸に打ち寄せる波の影響を考慮し、災害発生又は切迫までの猶予時間に応じ段階的に発表する情報とする。

		洪水に関する情報「洪水危険度」 氾濫による社会的影響大の河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫	大雨浸水に関する情報「大雨危険度」※1 内水氾濫及び左記以外の河川の外水氾濫	土砂災害に関する情報「土砂災害危険度」	高潮に関する情報「高潮危険度」
発表単位		河川ごと	基本的に市町村ごと	基本的に市町村ごと	沿岸ごと又は市町村ごと※2
警戒レベル相当情報※4	5相当	レベル5 氾濫特別警報※3	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報※3
	4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
	3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
	2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報

左記情報名称のポイントをシンプルに表現
→将来的に「警戒レベル」が社会に十分に浸透した際には、以下のようなシンプルな形の名称を検討することも一案。

		洪水危険度	大雨危険度	土砂危険度	高潮危険度
警戒レベル相当情報	5相当	洪水レベル5	大雨レベル5	土砂レベル5	高潮レベル5
	4相当	洪水レベル4	大雨レベル4	土砂レベル4	高潮レベル4
	3相当	洪水レベル3	大雨レベル3	土砂レベル3	高潮レベル3
	2	洪水レベル2	大雨レベル2	土砂レベル2	高潮レベル2

・ 情報名称の最終決定は、法制度や実際の情報の運用、伝え方なども踏まえ、気象庁・国土交通省が行う。

※1 警戒レベル相当情報への位置づけについては、関係機関で今後の課題として検討。

※2 発表単位をどうすべきかについては、情報利用者の視点も踏まえつつ、引き続き関係機関で検討。

※3 洪水予報河川または水位周知河川、高潮に関する情報の対象沿岸において氾濫の発生を確認した場合、その旨を氾濫特別警報または高潮特別警報の文章情報等に明記。

※4 警戒レベル相当情報とは、国・都道府県が発表する防災気象情報のうち、居住者等が自ら行動をとる際の判断に参考となる防災気象情報と５段階の警戒レベルとを関連付けるものである。警戒レベル相当情報が発表されたとしても必ずしも同時刻に同じレベルの避難情報が発令されるものでない。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討、連携強化	気象庁HP利用促進 防災気象情報の改善	気象庁	➡	➡	

その他水系（阿久根市）流域治水プロジェクト
～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】

気象庁 eラーニング教材「大雨のときにどう逃げる」

- 新しい生活様式でのオンライン学習に対応（教材は気象庁HPで公開）
- マイ・タイムラインの事前学習に最適
- 個人学習だけでなく、自治会や学校などでも活用できる教材
- 難しく考えず、気楽に取り組むことが可能

アドレス
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jma-el/dounigeru.html

「自らの命は自らが守る」
基本の知識を動画で学ぶ

約17分

自分の避難行動を
ワークシートに整理

約30分

1時間の学習にピッタリ

一歩
進んで

みんなで意見交換して
自分の避難を再確認

約30～40分

Web会議でも実施できます

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁	→	→	

その他水系（阿久根市）流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】

防災教育支援ポータル
－ １０分で防災 －

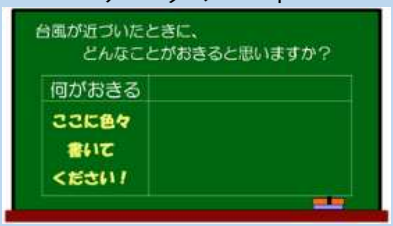
福岡管区気象台HP（教材はこちら）
https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/chosa/education/10mb.html

10分で防災

- ○ **短時間**で命を守る防災の学習
- ○ **子どもたち自身**で考え、話し合う機会をつくる
- ○ 災害を自分のこととして考える**「きっかけ」**となることを期待
- ○ 難しく考えず、**気楽に**取り組むことが可能
- ○ **４現象**（台風、大雨、地震・津波、火山）**の教材を用意**

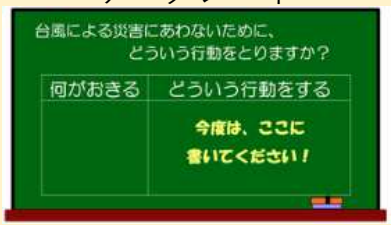
ステップ１　考える①

ワークシート



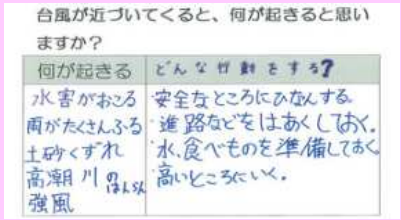
ステップ１　考える②

ワークシート



ステップ２　話し合う

他人の考えを聞いて、新たな「気づき」を生み出す



ステップ３
振り返りとまとめ

通学路のそばを流れる小川。用水路や道路のマンホール。普段は何でもない場所が、突然の大雨で、命を落とす場所に変わることがあります。「自分の身は自分で守る」という意識を身につけましょう。

起きる災害を考える → 自分の行動を考える → 行動を話し合う → 各班の意見をみんなで聞きましょう

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁	■	■	